

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

呉中央中学校区 校番13 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルの高い目標・ステップに向けた指標である。 ・身近な生活の中から工夫され、特に「自己肯定感」に着眼している点が良い。 ・「自分には良いところがある」と思える目標設定が適切である。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・表現することに一貫性があり、定着している。 ・生徒と向き合う時間を確保し、一人ひとりと関わるための多大な努力がなされている。 ・「継続は力なり」と思える基本を大切にしている。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・分析内容が細かく、先生方の苦勞に敬意を表する。 ・本当に子どもたちに寄り添っていることが伝わる内容である。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人間を育てる範囲が細部にわたり広がっており、素晴らしい改善策である。 ・呉市内の学校で一番素晴らしいと感じる内容であり、教職員間の協力体制も見える。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校とは異なる落ち着いた雰囲気があり、小中一貫教育の良さが「大人の入り口」に立つ子どもたちの姿に現れています。 ・他地区の自治会からも「呉中央学園は他校よりも頑張っている」と評判になっており、明るく楽しい学校づくりができています。 ・呉市内の高校を選択せず、広島市の高校を選択している生徒が増えている。高校統合等のニュースもあり、地域から高校が減ることを食い止めるためにも、各高校との連携をもっと行い、より地域に密接した学校づくりをお願いしたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>【自己肯定感を育む教育活動の継続と定着】 評価された「自己肯定感に着眼した指導」を柱とし、思春期の生徒が自身の良さを実感できる一貫した関わりを継続します。</p> <p>【地域・保護者への積極的な情報発信と交流】 「呉市内で一番」との高い評価を維持するため、学校の創意工夫や小中一貫教育の成果を地域へ広く発信し、交流を深めます。</p> <p>【市内高校との連携による進路指導の強化】 呉市内の各高校との連携を密にし、地元の魅力を伝えるキャリア教育を推進します。</p>
--------------------	--